

学校名

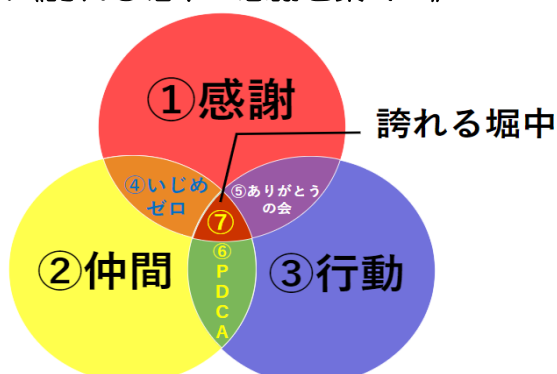
狭山市立堀兼中学校

本校生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します ・ 承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践

私たち堀兼中学校はこの一年間、《誇れる堀中～感謝を繋ぐ～》というスローガンのもとに活動してきました。



ここでは、④いじめゼロ、⑤ありがとうの会について説明します。

1. いじめゼロ～認め合いの木～



10月頃に、「認め合いの木」を作りました。いじめをゼロにするには、相手の良いところを知り理解することが大切だと考え、相手の長所やすごいところ、感謝していることなどを葉に書き、全校で集めてひとつの木にしました。

この木を＜認め合い（愛）の木＞と名付け、いじめゼロの象徴の木としました。これによって、相手の長所はどこだろうと相手を気に掛けることにより、相手を知ることができ、いじめが起きにくい環境を作ることができました。

2. スタンプラリー

堀中にある木を使って11月の2日間で昼休みにスタンプラリーを行いました。この企画はニッセイ緑の財団という企業とコラボしてのものでした。堀中にある木を図鑑にし、その図鑑を持って校庭を回り、木の下にいる本部役員にスタンプをもらおうと美術科の先生オリジナルシールがもらえます。



11月



木のしおり

この企画では全校の約 8 割の生徒が参加し、学年関係なく教え合ったり一緒に考えたりする姿が見受けられました。このような姿は私たち本部役員が理想としていた姿であり、いじめが起きにくい環境を作るという観点からみても、そのような環境に近づいたといえる姿です。

3. ～感謝の会～



感謝の会は今年度、一番重きを置いて行った活動です。普段お世話になっているけれど感謝を伝えられていない方々へありがたいの気持ちを届ける会として行いました。委員会ごとにお世話になっている方に手紙やポスターなどで感謝を表しました。私たちを陰で支えてくださっていてあまり面識がない方にも直接お礼を言う機会となり、とても有意義な時間でした。

総勢 11 名の方々にお越しいただきました。→
感謝を伝えることは容易ではありません。だからこそ大切だと思います。感謝を学校全体で取り組むことで、家庭や友達など、身近な人への感謝に繋がっていきたいです。



感謝の会の際に、生徒会本部の一年間の成果としての発表も行いました。誇れる堀中を目指して活動してきた集大成である感謝の会で6月の生徒総会と同じくパワーポイントを使っでの説明でした。

～最後に～

私たちは感謝を通していじめが起こりにくい環境を作る活動を行ってきました。感謝の気持ちを持つことで相手をリスペクトすることができるとともに、お互いの意見を尊重できるようになり、いじめに発展しづらくなると思います。一人ひとり持っている個性をみんなで認め、思いあう。それがいじめのない学校にするための第一歩だと考えます。これからも堀兼中学校は個性を大切に感謝の気持ちを繋いでいきます。